

通し番号	4 3 6 5
------	---------

分類番号	20-25-14-03
------	-------------

(成果情報名) イミダクロプリド水和剤 (アドマイヤー顆粒水和剤およびアドマイヤーフロアブル) のカボチャ・アブラムシ類に対する農薬登録の取得
[要約]カボチャ・アブラムシ類の防除におけるイミダクロプリド水和剤の適用拡大のため、薬効、薬害および作物残留試験を行い、その結果、平成21年3月4日および5月13日に新規登録された。本剤の使用によりカボチャのアブラムシ類が効率的に防除できる。
(実施機関・部名)神奈川県農業技術センター・農業環境研究部 連絡先0463-58-0333

[背景・ねらい]

生産現場からはカボチャのアブラムシ類に効果の高い農薬登録の要望があり、また、平成18年に施行されたポジティブリスト制度のため、三浦半島地区の他のウリ科野菜に既登録の農薬のカボチャに対する適用拡大が望まれる。

[成果の内容・特徴]

- 1 カボチャのアブラムシ類に対しイミダクロプリド50%水和剤10,000倍およびイミダクロプリド20%水和剤4,000倍の散布は高い防除効果が認められ実用性は高い。薬害および倍量薬害は認められない(表1、2)。
- 2 イミダクロプリド粒剤2g/株を定植時(収穫約3ヶ月前)施用して、イミダクロプリド20%水和剤1,000倍希釈液を7日間隔2回散布し、散布1、3および7日後の試料において作物残留量を調査したところ、登録保留基準(1ppm)を下回る残留量であった(表3)。
- 3 以上の結果をもとにカボチャのアブラムシ類に対して、アドマイヤー顆粒水和剤は平成21年3月4日に、アドマイヤーフロアブルは5月13日に新規登録された。

[成果の活用面・留意点]

- 1 今回の登録により、三浦半島地区の他のウリ科野菜と同様、カボチャに対しイミダクロプリド水和剤の散布が可能となった。
- 2 登録内容は、カボチャのアブラムシ類に対するイミダクロプリド50%水和剤(アドマイヤー顆粒水和剤)が、希釈倍数「10,000倍」、使用時期「収穫前日まで」、使用回数「2回」、イミダクロプリド20%水和剤(アドマイヤーフロアブル)が、希釈倍数「4,000倍」、使用時期「収穫前日まで」、使用回数「2回」である。(2009年8月現在)
- 3 ラベルに記載された安全使用基準を守り、正しく使用する。

[具体的データ]

表1 カボチャのアブラムシ類に対するイミダクロプリド水和剤の防除効果および被害

供試薬剤	希釈倍率 (倍)	年度	30株あたりアブラムシ類寄生虫数									被害	
			散布前調査			散布2日後			散布7日後				
			有翅虫	無翅虫	合計	有翅虫	無翅虫	合計	有翅虫	無翅虫	合計		
イミダクロプリド20%水和剤 (アドマイヤーフロアブル)	4000	H18	3区平均	6.7	327.7	334.3	0.3	15.0	15.3	0.0	6.7	6.7	-
			補正密度指数						4.7			3.4	
		H19	3区平均	6.3	77.7	84.0	13.3	19.3	32.7	7.7	3.7	11.3	-
			補正密度指数						13.9			4.0	
イミダクロプリド50%水和剤 (アドマイヤー顆粒水和剤)	10000	H18	3区平均	3.7	301.0	304.7	0.0	9.7	9.7	0.0	3.3	3.3	-
			補正密度指数						3.2			1.9	
		H19	3区平均	11.7	99.0	110.7	10.7	28.0	38.7	10.0	6.7	16.7	-
			補正密度指数						12.4			4.5	
DDVP50%乳剤 (対照薬剤) (DDVP乳剤50)	1000	H18	3区平均	4.7	182.7	187.3	0.3	66.0	66.3	0.0	56.0	56.0	-
			補正密度指数						36.2			50.9	
		H19	3区平均	11.7	127.7	139.3	30.7	100.0	130.7	30.0	228.3	258.3	-
			補正密度指数						33.4			55.1	
無散布	-	H18	3区平均	6.3	376.7	383.0	0.3	374.7	375.0	0.3	224.7	225.0	
		H19	3区平均	13.0	132.3	145.3	46.0	362.0	408.0	30.3	458.3	488.7	

表2 カボチャに対する倍量薬害試験

薬剤	希釈倍数	平成19年度						平成20年度					
		散布2日後		散布7日後		散布14日後		散布2日後		散布7日後		散布14日後	
		茎葉	果実	茎葉	果実	茎葉	果実	茎葉	果実	茎葉	果実	茎葉	果実
イミダクロプリド20%水和剤 (アドマイヤーフロアブル)	2000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イミダクロプリド50%水和剤 (アドマイヤー顆粒水和剤)	5000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無散布	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

-: 薬害なし

表3 カボチャに対するイミダクロプリド粒剤および水和剤処理後の残留濃度

試料	供試農薬の濃度及び量	最終散布後経過日数	残留イミダクロプリド濃度 (ppm)	
			平成19年度	平成20年度
カボチャ	粒剤:2g/株、水和剤:4000倍 (300L/10a)、7日間隔2回	-	<0.01	<0.01
		1	0.06	0.10
		3	0.06	0.04
		7	0.04	0.01

参考)カボチャにおけるイミダクロプリドの作物残留登録保留基準値: 1ppm

[資料名] 平成19年度、平成20年度試験研究成績書 (農業環境研究部)

[研究課題名] 農薬残留確認調査事業

およびかながわ特産品等マイナー作物に対する農薬登録促進

[研究期間] 平成18~20年度

[研究担当者] 折原紀子・井上裕理・二村友彬